



たとへば君 ガサッと落葉すくふやうに  
私をさらつて行つてはくれぬが

短歌をたしなむわけではありませんが、秋風が舞い始めると、心を揺らす歌です。

公園のすみに吹き寄せられた落ち葉をふむとき、こんなふうには落ち葉を拗つてみたい。でも 拗つた落ち葉はてのひらから少しずつ落ちていく。がさつと拗つたあとのせつなさ・・・

作者は歌人の河野裕子さん 21歳のとき、今のご主人との出会いの歌です。

昨年夏、河野裕子さんは2000年に患った乳がんが転移・再発、64歳の若さでこの世を去られました。その歌人河野裕子さんと、科学者にして歌人である夫、永田和宏さんの出会いから妻の死まで、四十年に残した相聞歌380首とその折々のエッセイや肉声で辿る夫婦の軌跡が単行本になりました。

### たとへば君 — 四十年の恋歌

乳癌発病という思いがけない出来事の中で、癌を公表し、闘病をも包み隠さず歌っていくことを決意する河野裕子さん。

けれど、絶え間ない再発の不安の中で、平然を装い今まで通り仕事に打ち込む夫に、妻はいつしか精神のバランスを崩していきます。



死ぬな 男の人に言ふやうにあなたが言へり白いほうせん花  
河野裕子  
ひき受けてやれない私は庭に出て雪だ雪だと君を呼ぶのみ  
永田和宏

壮絶な時間を乗り越えた夫婦に、2008年、乳癌の再発・転移が知らされます。すでに化学療法も効かない残酷な事実を前に、2人の歌はさらに哀切な美しさを増していきます。

一日に何度も笑ふ笑ひ声と笑ひ顔を君に残すため  
あの時の壊れたわたしを抱きしめてあなたは泣いた泣くより無くて  
河野裕子

一日が過ぎれば一日減つてゆく君との時間 もうすぐ夏至だ  
言って欲しい言葉はわかっているけれど言へば溺れてしまふだろうきみは  
永田和宏

日々の生活の中からほとぼしるように生み出される短歌は、美しいだけでなく、精神の不調であったり、激しい激情であったり、きれいごとではすまされない闘病の葛藤が歌に詠み込まれています。

「河野裕子は文字通り最後の日まで歌を作り続けた。寝ながら、横にあるものになんでも歌を書きつけた。ティッシュペーパーの箱、薬袋、などなど。

そして、いよいよ鉛筆を握る力がなくなると、何の前触れもなく、話をするようにして、歌の言葉を呟いていたのである。

慌てて、その場にいる家族の誰かがそれを口述筆記する。

そんなふうにして、紅が書き、淳が書き、私が書き写した」

(巻末エッセイ「残された時間」より 永田和宏)

この本の表紙の写真は、2008年7月に転移が発覚し、抗がん剤治療が始まる前に、河野さんの黒髪を写真に残すため、家族4人で京都御所に彼女を撮りに行ったときのもの。

気乗りしなかった河野さんだが、お気に入りの薄青色の着物を着た彼女を夫と息子と娘三人がそれぞれ三様のカメラを構えて、河野さんを撮った。

このときの写真が数枚、河野さんらしい、落ち着いたいい写真が撮れた、ということで、のちに「偲ぶ会」の時の祭壇にも飾ったそうです。



## 家族の歌 河野裕子の死を見つめた344日



河野裕子と夫・永田和宏。同じく歌人である息子の永田淳と娘・永田紅。2009年9月、裕子はガンを患いながらも、産経新聞夕刊に家族4人で短歌・エッセイのリレー連載をはじめた。それを河野裕子の死を機に、再構成したもの。

いつまでも私はあなたのお母さんごはんを炊いてふとんを干して  
河野裕子  
「裕子さんお元気そうよかった」と幾度か言われ帰り来たりぬ  
もっと長い時間があるとおもいき  
いつだって母は生きていたのだから  
永田紅（娘）

紅は細胞生物学の研究者である。私の病気についても、わたしの知らない角度から観察し、理解できる。だから「裕子さん元気そうよかった」と人から言われても、母親の現状はそうじゃないのに、と紅は思う。

彼女が作った歌を読むと、日常会話のやりとりでは汲取ることのできない、心の深みが直に感じられる。歌には日常のコミュニケーションを超える力がある。

「紅さん、このあいだのあなたの歌読んだよ。」「うん」という短いやりとりだけでじゅうぶんにお互いがわかる。（家族の歌・・・歌なら本音が言えるから・・・より 河野裕子）

手をのべてあなたとあなたに触れたきに息が足りないこの世の息が  
河野裕子（絶筆）  
歌は遣り歌に私は泣くだろういつか来る日のいつかを怖る  
永田和宏



ベストハウス NEWS part1



### 社長\*

急に冷え込みがきつくなり、夜明けのサイクリングは「ジャパ」と手袋が必要。ひと月前まで汗をかいて朝風呂に入っていたのに...



### 山本工事部長\*

聞く所によると、今爆釣しているとか…。いっぺん行ってみたいぞっ!! 誰か教えてくれ〜い。



### 齋藤\*

草津市と湖南市にて大改修工事中!! 「木」と強さと、日本建築と工夫と技を多々発見、多々勉強しながら「木」を感じます。詳しくはblogにてUPします。



### 吉本営業主任\*

10、11月は色々なイベントを企画したり参加したりで、大忙し〜。11月1日(火)には、薪割くらぶのイベント・告知で『NHK おうみ発610』に出演予定。よかったら見てください。



# 秋のイベント情報です!

植林体験に薪割り体験・そしてリラックスヨガなど私たちが携わっているイベント情報です。  
よかったらお友達をお誘いの上、遊びに来てくださいね。  
お待ちしております!!

10月25日(火曜日) 10時~13時まで

▼ リラックスヨガ体験 ▼

日ごろのたまった疲れや疲労・運動不足解消に簡単なヨガで一緒にリラックスしませんか?

場 所 栗東市 コミュニティセンター治田東

参加費 一人300円 完全予約制

募 集 10名

お申し込みは、(株)ベストハウスまでメールまたはお電話で。

10月30日(日曜日) 10時~12時まで

【失敗しない土地の選び方と予算オーバーにならない資金計画の考え方】

場 所 ベストハウス事務所内

参加費 無料 予約制

募 集 6名まで

お申し込みは (株)ベストハウスまでメールまたはお電話で。

11月13日(日曜日) 10時~15時まで

第三回 里山の秋を楽しもう♪ 植林と薪割り体験・地元の食材の販売や試食会など

場 所 甲賀市水口町今郷地域の里山

参加費 500円

募 集 100名

お申込み・お問い合わせは、(株)ベストハウス内吉本まで 別紙チラシをご覧ください~

11月19日(土)・20日(日)

住まいの耐震博覧会 考えよう!これからの住まいづくり災害に強い家と地震対策

場 所 インテックス大阪2号館

参加費 無料

お申込み・お問い合わせ (株)ベストハウスまで、メールまたはお電話で



ベストハウス NEWS part2



## メタボ"ツチ 土田\*

我が家に新しい家族が来て1ヶ月がたちました。6月生まれのハル君(シズ)とちよっと、やんちゃな僕ちゃんですが、宜しくです。たま〜に登場しまあね。ん!



## 中村開発部長\*

スマホにパソコンに、スマートフォンに、ミラーに、ワイヤレス etc  
めずらしもん好きです(^\_^)



## 事務 かおるん\*

丹波栗を頂いたので、渋皮煮を作ってみました。初めてびん詰めに挑戦。美味!栗大好き。やっぱり、COOKPADがおススメです。



## 事務 しまりん\*

狙っていたスマホが値下がり購入♪サクサクです!カメラも出来るので、実家にPC持って行っても便利出来る。嬉しス(\*^\*)



# 私たちは今、こんな仕事をしています。 大震災のあと、菜園ができる様な広い土地に住みたい。

そう考えた f さん。  
家族で安心安全に住める場所を求め 100 坪以上の土地探しを始められました。

広い土地に家族 3 人で住むことが夢だった f さん。

数ヶ月後に出会った場所は、20 戸ほどが寄り添って建っている田園の中の集落でした。集落内には神社仏閣など歴史を感じさせる土地柄。そこに新しい家庭を築く。そう決心して購入。

次は建築業者探しです。最初はハウスメーカーを見に住宅展示場へ。しかし何か違います。奥さま情報やネット、それに見学会など参加し徐々に自分たちが求めている住宅像が見えてきました。それは、自然素材を使い断熱性能が高い住まい。こだわりの建築業者の話を聞きましたが今度は予算に応じての融通を効かせてくれません。少しの変更もできない。「本当にイイのこれでイイの？」っとの思いで出会ったのが私たちでした。

11 月には上棟出来そうです。これから新築を考えている方へ、また見学会を行いますので良かったら参考にしてくださいね。



京都の石清水八幡宮へ行きました。エジソンさんにご縁が深い場所…

私の好きな話に、エジソンが電気のフィラメントになる素材を発見するに至ったエピソードがあります。彼は、電気のプラスとマイナスに「何を」つなげば光を発するかを求めて、その辺にあるものを片っ端から実験していった。人間の髪の毛、こより、自分が食べ残したチーズ、あらゆるものを実験し、その数は三千種類にも及んだが、いい結果が得られなかった。

友人がみかねて「もう三千回も実験したから気がすんだらう。そろそろ諦めたらどうだ」といった時に、エジソンは、「バカなことをいうな。世の中に物質は五千五百種類あると聞いている。私はそのうちの三千の物質をすでに実験した。残りは二千五百。成功はもう目の前まできている」

そして遠く離れた日本のそれも、ここ石清水八幡宮の竹に目を付けたエジソンさん。薄く切ってフィラメントに使い、実験が成功したのです。そして月日がたち…最近ではLEDという省エネの電球が主流になりつつあります。このLEDも日本の知恵が無いと出来ていませんでした。

日本って、人もモノもホントに豊かで世界に貢献しているのです。リーマンショックや地震で不景気になって、ダメだって言っているお父さん。ほんとうはそう思っている自分がダメだったしますよ。頑張ってくださいね～

SY

## 環境共生住宅工房・(株)ベストハウス

滋賀県栗東市小野 1007-3

フリーダイヤル 0120-6955-81

TEL077-552-6955 FAX 077-552-6775

ホームページ <http://besthouse.cc> E-mail [6955@besthouse.cc](mailto:6955@besthouse.cc)